

**【事務事業調査】**

事務事業名	地域密着型複合施設整備費		予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当 サブリーダー	社会福祉担当 吉葉恵子	事業の分類 既存事業

**事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	小規模多機能型居宅介護施設と認知症対応型グループホームの併設整備に向けて、事業者募集要綱を作成し、事業者の公募をします。施設建設に係る事業者選定委員会を設置し、応募者からの提案の審査のうえ事業者を決定し、施設を整備します。	要介護者が、様態や希望に応じた「通所」を中心に「訪問」や「泊まり」のサービスを受けながら在宅での生活ができる。また、認知症高齢者は環境が変わると症状が悪化するため、できるだけ環境を変えずに慣れ親しんだ介護者等により切れ目なくサービスを受けることができる。より地域に溶け込んだ施設として整備することで、子どもや一般高齢者、障害者等が集える居場所となる。
実績	計画通り公募により事業者を決定し、小規模多機能型居宅介護施設と認知症対応型グループホームの併設施設が整備されました。 平成21年3月完成 小規模多機能型居宅介護施設370.88㎡(登録定員25名、通い15名、宿泊9名) 認知症対応型グループホーム255.80㎡(1ユニット9名)	小規模多機能型居宅介護施設は町内では初めて整備された施設であり、高齢者が介護が必要になってもできる限り自宅或いは住み慣れた地域で生活していくことを支援するための施設です。「顔なし」の介護者による切れ目の無い介護が受けられることは、今後増加していくことが予想される認知症高齢者の対応としても、有効なサービス提供が期待できます。

**活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
整備施設数	1箇所	1箇所	

**事業費(計画)**

細 節	金 額
1 報償金	110,000
2 補助金	54,000,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	54,110,000

**事業費(当初予算)**

細 節	金 額
1 報償金	110,000
2 補助金	48,000,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	48,110,000

**事業費(実績)**

細 節	金 額	特記事項
1 報償金	66,000	施設整備に係る法人審査委員報償 @5,500×4名×3回
2 補助金	48,000,000	社会福祉法人幸世会に交付
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	48,066,000	

**事業経費**

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		48,110,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		48,110,000	
決 算	決算額		48,066,000	
財 源	国庫支出金	36,000,000	33,000,000	地域介護・福祉空間整備交付金30,000,000 地域介護・福祉空間推進交付金3,000,000
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	36,000,000	33,000,000	
	差引(一般財源)	18,110,000	15,066,000	